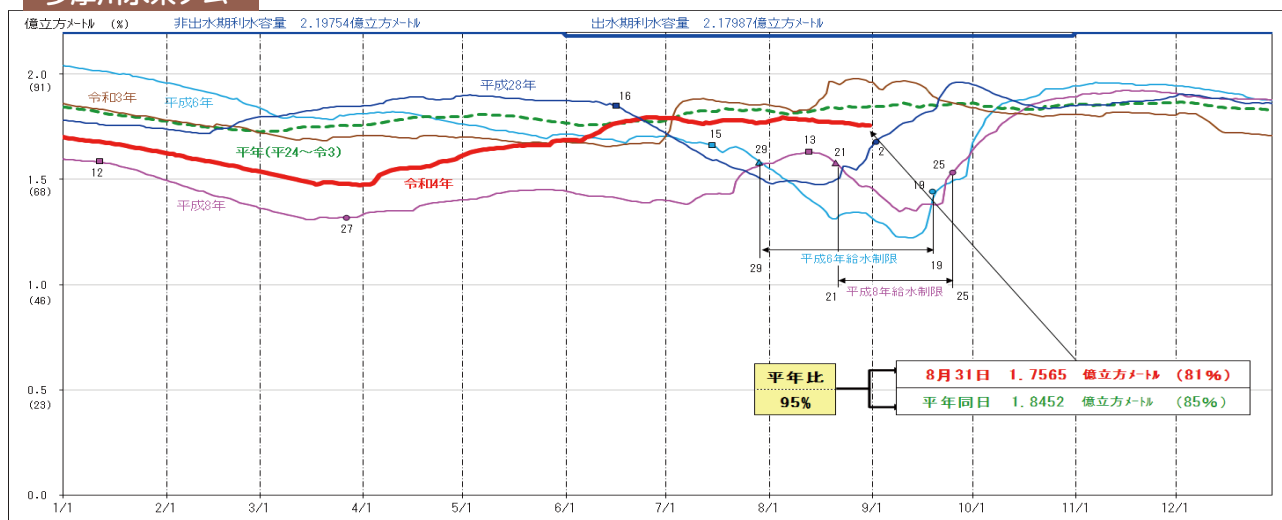


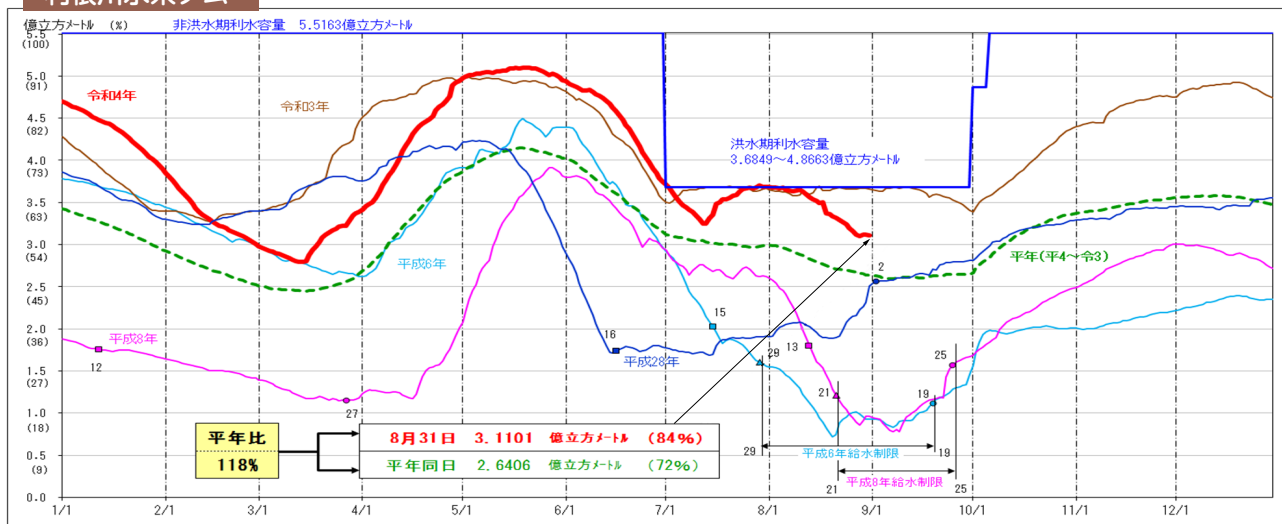
参考資料

(1) 貯水量 (令和4年8月末現在)

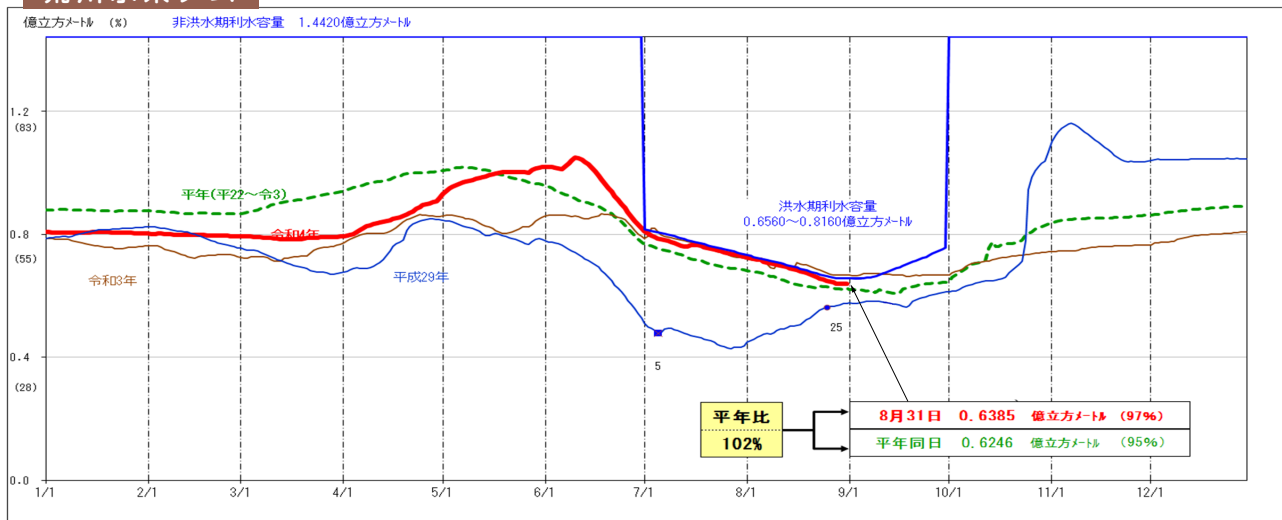
多摩川水系ダム



利根川水系ダム



荒川水系ダム



(2) 水道事業ガイドラインでみる変化（分類：環境）

水道事業ガイドラインは、公益社団法人日本水道協会が制定した水道サービス（事業）に関する国内規格です。水道事業全般について多面的に定量化し評価することを目的とし、119項目の業務指標で構成されています。ここでは環境に分類されている6つの指標を掲載します。

業務指標	定義	単位	指標値*				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
配水量 1 m ³ 当たり電力消費量	電力使用量の合計／年間配水量	kWh/m ³	0.54	0.53	0.53	0.52	0.52
配水量 1 m ³ 当たり消費エネルギー	エネルギー消費量／年間配水量	MJ/m ³	2.09	2.06	2.05	2.01	2.04
配水量 1 m ³ 当たり二酸化炭素（CO ₂ ）排出量	（CO ₂ 排出量／年間配水量）×10 ⁶	g-CO ₂ /m ³	268	270	253	245	235
再生可能エネルギー利用率	（再生可能エネルギー設備の電力使用量／全施設の電力使用量）×100	%	1.2	1.2	1.0	1.0	1.1
浄水場発生土の有効利用率	（有効利用量／浄水場発生土量）×100	%	39.0	43.7	56.2	28.9	56.5
建設副産物のリサイクル率	（リサイクルされた建設副産物量／建設副産物発生量）×100	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※ 水道事業ガイドラインの指標については、公益社団法人日本水道協会が定める方法に基づき算定しています。

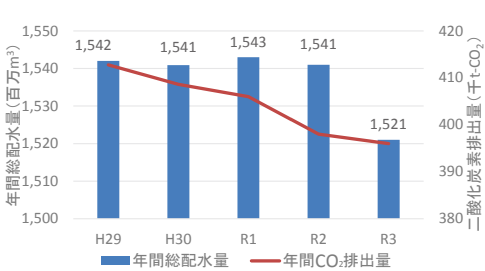
(3) その他データ

要因別二酸化炭素排出量推移

(t-CO₂)

活 動		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
電気	オフィス活動による排出	6,235	6,026	5,569	5,242	5,140
	オフィス活動以外による排出	389,422	386,639	384,482	377,751	374,435
熱（蒸気）		3,384	3,068	3,863	2,371	1,794
燃 料		13,346	12,473	12,178	12,742	14,353
その他		388	436	363	351	330
合 計		412,775	408,642	406,455	398,457	396,053

年間総配水量と二酸化炭素排出量の推移



薬品使用量（令和3年度）

工程	薬品名	使用量 (t)
取水・導水	活性炭	2,022
浄 水	次亜塩素酸ナトリウム	17,551
	次亜塩素酸ナトリウム (12%換算)	1,216
	ポリ塩化アルミニウム（PAC）	37,131
	水酸化ナトリウム	17,396
	濃硫酸	7,298
	その他	1,297
送配水	次亜塩素酸ナトリウム（12%換算）	269

(4) 発熱量及びCO₂排出係数

エネルギー種別	単位発熱量	CO ₂ 排出係数
電力	9.97 GJ/千kWh	0.489 t-CO ₂ /千kWh
ガソリン	34.6 GJ/kL	2.322 t-CO ₂ /kL
灯油	36.7 GJ/kL	2.489 t-CO ₂ /kL
軽油	37.7 GJ/kL	2.585 t-CO ₂ /kL

エネルギー種別	単位発熱量	CO ₂ 排出係数
LPG	50.8 GJ/t	2.999 t-CO ₂ /t
都市ガス	45.0 GJ/千Nm ³	2.244 t-CO ₂ /千Nm ³
産業用蒸気	1.02 GJ/GJ	0.060 t-CO ₂ /GJ
産業用以外の蒸気	1.36 GJ/GJ	0.060 t-CO ₂ /GJ
冷水	1.36 GJ/GJ	0.060 t-CO ₂ /GJ
温水	1.36 GJ/GJ	0.060 t-CO ₂ /GJ

お客さまからの御意見

環境施策のより一層の充実を図るとともに、環境報告書の内容をより良いものとするために、環境報告書2021について環境NPO法人（5法人）や学校（4校）の方々から、水道局の環境施策の取組状況及び環境報告書の記載内容について、御意見をいただきました。

皆様からの評価及び御意見を基に、今後もより一層の充実を図ってまいります。

御意見を頂いた団体

【NPO法人】（五十音順）

奥多摩川友愛会、川中から資源環境を考える会、多摩川塾、水元ネイチャープロジェクト、匿名1法人

【学校】

東京都立杉並総合高等学校、匿名3校

御意見・御感想	御意見に対する対応
SDGsについて、詳しく記載して欲しい。	水道局の環境施策とSDGsの関連性をわかりやすく示すため、取組事項とSDGsの対応関係を表にして掲載しています（18から19ページ）。
水道局と生き物の関係について、詳しく説明して欲しい。	水道局が管理している水道水源林の中には多様な動植物が生息しております。環境報告書2022では、水道水源林の生き物についてのコラムを設け、詳しく説明しています（42ページ）。
事業の概要と環境側面についてうまくまとめられており、興味深かった。	水道事業と地球環境は深いかかわりがあります。環境保全と良好な事業経営を両立し、持続可能な水道事業を実現するために、環境への取組を関係者のみなさまにわかりやすく伝え御理解いただくことに努めています。

■環境報告書2022のアンケートについて

皆様の御意見または御感想をお待ちしております。水道局ホームページにアンケートフォームを掲載しておりますので、水道局の環境への取組や環境報告書について御回答くださいますようお願い申し上げます。

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/kankyo/>

※本冊子及び概要版は、水道局ホームページからダウンロードできます。



ウェブサイトをはじめ、各種媒体により、
様々な情報を発信しています！



東京都水道局ホームページ

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/>



東京都水道局公式Twitter

https://twitter.com/tocho_suido



東京都水道局多摩水道公式Twitter

https://twitter.com/tocho_suidoTama



東京都水道局の環境への取組や環境報告書について、
皆様の御意見・御感想をお待ちしております。



HTT 電力を
へらす
つくる
ための
TokyoTokyo

編集・発行

2022（令和4）年11月（令和4年度第一類第205号）

東京都水道局総務部企画調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-6410



この報告書は、
バイオマスインキを
使用しています。



UD FONT